図書館だより

10月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	⑩
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑲	20	21	22	23	24
25	㉖	27	28	29	㉚	31

○印 休館日
月曜日・祝日（10日）
月末館内整理日（30日）

去るものは去りまた充ちて秋の空　飯田龍太

読む人によってそれぞれの思いが、走馬灯のように駆けめぐります。去る人は去り再び充実してくる思いのなかに、秋空の澄んださわやかさは、いかばかりでありましょうか。句集「今昔」所収

今月の新刊図書案内

♥一般図書

新聞の歴史　小糸忠吾
河合隼雄その多様な世界
ダイアナ妃の真実　A・モートン
民族とは何か　山本七平ほか
日本の「富士」たち　講談社
会社人間のボランティア奮戦記　磯部裕三
脳死臨調批判　立花　隆
アトピッ子のための除去食・アイディア集　全国保育団体連絡会
森の三六五日　宮崎　学
美をひらく扉　大岡　信
手塚治虫物語　伴　俊男
勘九郎芝居ばなし　中村勘九郎
地球と私のベジタリアン料理　リンダ・マッカートニー
きのこ狩り名人のきのこ料理　楊名時の気功太極拳24式
サイコミステリー・ベスト100
あの日マリンエバートで野村正樹
女の修羅・男の野望　永井路子
彩雲の峰　高樹のぶ子
人生の習慣　大江健三郎
名残りのコスモス　干刈あがた
石の聲　李良枝（イ ヤンジ）
言葉と沈黙　江藤　淳
ひねくれ一茶　田辺聖子
プワゾン　藤堂志津子
名札のない荷物　松本清張
華やかな誤算　山村美紗
遠い歓声　内海隆一郎
生きとし生けるものは　小田実（まこと）
外一五六冊

♥児童図書

占いってなんだろう
絵でみる世界動物地図
少年の日々
おばあちゃんのキルト
あいさつがいっぱい
外九十一冊

〝点字図書・声の図書コーナーからのお知らせ〟

視覚障害者の皆さまに書物に親しんでいただくために点字図書・声の図書（カセットテープ）コーナーを設けて、資料の郵送貸し出しサービスを行っていますのでご利用ください。

♥点字図書

脳卒中療養のコツ
肩こり教室―その原因と治療法―
心臓病で死なない本
老化の原点をさぐる
不眠症
視覚障害者のためのパソコン入門　MS―DOS編
夢判断
点字歳時記　「春」「夏」「秋」
宇宙の謎―面白すぎる雑学知識―
しつこい持病は漢方で治せ

♥声の図書

新しい目の医学
盲人文芸愛好家作品集　第18・19
相対性理論のはなし
株式急騰銘柄発見法
レイチェル・カーソン―その生涯
痛みの鍼灸治療
この一鍼この一手
時代と健康（1）
30歳からの自己開発
芥川龍之介作品集　全五巻
シンデレラ迷宮
吸血鬼よ故郷を見よ
NHK落語名人選　1～15
NHK歴史と人間

子どもの心シリーズ（40）

思春期　怠学傾向

大人でも、子どもでも、だれでも怠けたい気持ちはあります。人はコツコツ努力を積み重ねるより、好きな事、おもしろい事をしていた方が楽です。寒い日、朝早く起きるより、布団の中にいた方が楽です。学校に出かけても、途中で遊んでいたい時もあるのです。学校にいって分からない授業を受けるより、ゲームセンターで遊んでいたい時もあるのです。

大人の場合、毎日朝からパチンコをしていたり、酒を飲んでいたのでは、他人から信用されなくなり、社会生活ができなくなります。しかし、子どもの場合には違います。子どもは、親が保護してくれていますから、社会生活ができなくなるという事はありません。せいぜい親や、先生から注意を受ける事くらいで済みます。

子どもの中には、少々頭痛がする、気持ちが悪いというような事があっても学校に行こうとする子もいますし、反対に仮病を装ってなるべく学校に行くまいとする子どももいます。このような違いはどうしてできるのでしょう。

さぼり癖のついた子を怠学傾向のある子としましょう。怠学傾向のある子は小学校にも、中学校にも、高校にもいます。中学生、高校生になって怠学傾向のでてきた子をその時になって直そうとしても、すぐ直るものではありません。それは、幼児期、児童期のしつけの積み重ねの結果です。だから怠学傾向になった責任の大半は親にあるといってよいでしょう。

家庭が生産的雰囲気のある子は怠学傾向のある子に育たないようです。生産的雰囲気のある家庭とは、家族がよく働く雰囲気のある家庭です。親に勤労意欲のない家庭の子の中に怠学傾向の子がいる事が多いように思えます。

思春期になって怠学傾向のでてきた子に、家庭で学校に行くことの大切さ、努力の必要性、勉強する事の意味を話しても効くものではありません。

その時には、担任の先生、生徒指導の先生に相談する事です。先生と親で話して良くなるなら幸いです。たいていは、親のいう事も、先生のいう事も、聞かない時が多いようです。

怠学傾向のでてきた子をほっておくと危険です。というのは、怠学傾向の子は非行をしたり、非行集団に入るようになるからです。

怠学傾向がでて親のいう事も、先生のいう事も聞かないようになったら相談機関に相談しましょう。

教育相談室
☎（43）1111
内線　216